

デジタルカメラ・プロジェクター・監視カメラの高性能レンズを増産  
フィリピンに光学レンズの加工・組立の新工場を建設

平成 24 年 8 月 21 日

富士フイルム株式会社(社長:中嶋 成博)は、デジタルカメラやプロジェクター、監視カメラに用いる高性能レンズの生産能力を増強するため、フィリピンに光学レンズの加工・組立を行う新工場を建設します。新工場は、平成24年10月に着工、平成25年6月に稼働の予定です。

富士フイルムは、デジタルカメラレンズや携帯電話用カメラモジュール、放送用 TV レンズ、監視カメラ用レンズ、プロジェクター用レンズなどを扱う光学デバイス事業を重点事業の 1 つとして位置付け、取り組みを加速させています。

光学レンズは、民生用から業務用まで幅広い製品で使用され、今後も世界的に成長が見込まれている分野です。現在、デジタルカメラ・監視カメラなどの各種カメラやプロジェクターなどの高性能化、経済成長が著しい新興国などでの普及率向上に伴い、光学性能が優れたレンズの需要が伸長しており、今後もその傾向は継続していくと予想されています。このような中、電力などのインフラが整備されており、若い人材も豊富であるフィリピンに新工場を建設し、光学レンズの生産能力の増強を図ることを決定しました。

今回の新工場は、光学レンズの研磨やコーティングなどの加工から組立までを一貫して生産できる工場です。ガラスレンズの表面をナノオーダーで高精度に研磨する「レンズ研磨機」や、反射防止用多層薄膜を形成する「真空蒸着機」などの生産設備を導入し、デジタルカメラ・プロジェクター・監視カメラの高性能レンズを生産していきます。

また、平成 25 年 6 月の稼働開始から段階的に生産設備を増強することで、平成 27 年度には 18 百万枚/年まで引き上げ、伸張する光学レンズの需要に対応していきます。尚、総投資金額は 23 億円を計画しています。

富士フイルムは、独自の開発設計力、高度な製造技術力や品質管理に基づいたフジノンブランドの製品を世の中に提供し、多様化するお客様の幅広いニーズに対応してきました。今後も、光学デバイス分野のリーディングカンパニーとして、市場ニーズにマッチした製品を開発・発売し、本分野のさらなる発展に貢献していきます。

<新工場の概要>

1. 会社名	FUJIFILM Optics Philippines, Inc
2. 所在地	マニラ南部ラグナ州(カーメルレイ工業団地)
3. 総投資金額	23 億円
4. 生産品目	デジタルカメラ・プロジェクター・監視カメラの光学レンズの加工・組立
5. 着工時期	平成 24 年 10 月予定
6. 稼働開始時期	平成 25 年 6 月予定

本件に関する報道関係のお問い合わせは、下記にお願いいたします。

広報部 TEL 03-6271-2000

インターネットホームページアドレス <http://fujifilm.jp/>